

奈良・町家の芸術祭 はならあと2022

「地球に優しいエコロジカルな芸術祭」

■はならあととは

「奈良・町家の芸術祭はならあと」は、美しい町並の保存や貴重な町家の利活用など地域価値の維持向上を目標としたアートプロジェクトで、今年で12年目を迎えました。町家と現代美術を組み合わせることで、地域独自の文化や暮らしを現代に受け継ぎ、再発見する機会としています。

■はならあと2022の開催の特徴

- 2020年から3ヶ年を通して『環境問題』への関わりをテーマとした展覧会の最終章です。
- 昨年度に引き続き、『はならあと・こあ(メインエリア)』は天理エリアで開催します。
- 「はならあとシネマ」や「はならあとサステナブル講座」などの多様な企画も展開します。
- 『さてらいとエリア』は2年ぶりのはならあと会場となる橿原・今井エリアにて開催します。
- 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、感染予防対策を徹底して開催します。

こあエリア(メインエリア)概要

天理エリア

日時: 2022年10月21日(金) - 11月7日(月)
※火 - 木曜日休み、10月26日(水)・11月3日(木・祝)は開催
10時 - 17時

会場: 天理本通り商店街の元商店・空き家

インフォメーション: Art-Space TARN
(奈良県天理市川原城町326-1)

入場料: 有料(大人1000円、学生500円、中学生以下無料・障がい者手帳をお持ちの方及び同伴の方1名無料)

- 会期中全日、全会場再入場可能です。
- 内覧会を実施します。
詳細については別添資料を御覧ください。

さてらいとエリア概要

橿原・今井エリア

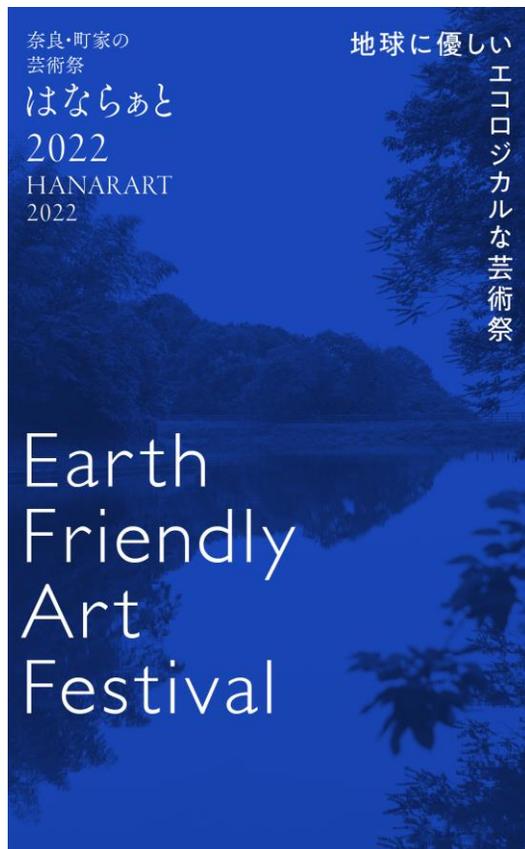
日時: 2022年10月14日(金) - 10月23日(日)
10時 - 16時

会場: 今井町内の町家

インフォメーション: 阿伽陀屋若林亭
(奈良県橿原市今井町4丁目)

入場料: 無料

はならあと2022メインビジュアル



新型コロナウイルス感染症の拡大状況により、イベントの内容を変更する場合があります。

詳しくはウェブサイト・チラシを御覧ください。

<http://hanarart.jp>

主催: 奈良・町家の芸術祭HANARART実行委員会 共催: 奈良県

奈良・町家の芸術祭はならあと 2022

「地球に優しいエコロジカルな芸術祭」開催概要

今年の『はならあとこあ』である天理エリアは、実験的な現代芸術の展覧会を開催する本芸術祭のメインエリア。地域性を再考察することで現代日本の課題を読み解き、未来に向けて、新しい価値を提案・発信します。2020年、2021年、2022年は、内田千恵がキュレーターを務めます。

テーマは、過去二年に続き、現代美術の視点から環境問題に我々がどのように向き合い、考え、選び、行動すべきかに焦点を当てています。

奈良県は、日本建国の地として知られ、歴史的情緒あふれる古い町並みが残っています。現在も多くのまちづくり団体等が歴史的建造物や文化保存に力を入れ活動しています。環境問題の根本としてはならあとの理念とする「古いものを大切に保存し継承する」これこそが今一番必要なものではないでしょうか。

また、まちづくり団体が自らコーディネーターとなり展覧会を開催する『はならあとさてらいと』としては、2年ぶりに橿原・今井で開催致します。

●こあ 天理エリア：2022年10月21日(金) - 24日(月)、26日(水)、
10月28日(金) - 31日(月)、11月3日(木・祝) - 11月7日(月)

◎さてらいと 橿原・今井エリア：2022年10月14日(金) - 10月23日(日)

※以下、イベント情報は『はならあとこあ』の情報になります。『はならあとさてらいと』について、詳しくはウェブサイト・チラシをご覧ください。 <https://hanarart.jp/2022/>

プロジェクト構成

- ①現代美術の展覧会「やがて、その芽は花となる」
- ②はならあとサステナブル講座
- ③はならあとシネマ
- ④はならあと SUNDAY マルシェ
- ⑤はならあと団体パートナー展
- ⑥はならあと ART SHOP

①現代美術の展覧会

「やがて、その芽は花となる」

商店街に点在する元店舗や空き町家に日本人4名、オーストラリア人1名の現代美術作家5組の展覧会を開催します。環境問題をテーマに人間と自然との関わりを探求し、土を耕し、種を蒔き、花が咲くまでの3年間の軌跡をコンセプトにした集大成となる展覧会です。

キュレーター 内田千恵

大阪府生まれ、奈良県在住。

日仏現代美術団体 Art 7ten (アールセッテン) 運営。

大阪芸術大学卒業。ロンドンメトロポリタン大学院アートマネジメント専攻修了。

帰国後、コマーシャルギャラリーで8年間勤務。フランスのアートシーンをリサーチするため現地に1年間滞在。現在は、奈良県に移住し、日仏の若手美術家を紹介するべく活動している。

2020年から3年間はならあとこあキュレーターを務める。



撮影：南方英作

出展作家

赤松加奈 Kana Akamatsu | 作品名「今から、生まれる。」

1990年生まれ、奈良県在住。2015年 京都造形芸術大学大学院 芸術表現専攻 修了。群馬青年ビエンナーレ2019大賞受賞。結婚し農業をする傍ら絵を描き、また、高校やフリースクールなどで子どもたちと絵を通して交流をしてきた。農業風景の中にある生と死、そしておおらかで切実な周囲の人々の姿を描いている。

岩谷雪子 Yukiko Iwatani | 作品名「薬草たちの囁き -Whispers of Medicinal Plants-」

1958年札幌市生まれ、高知市在住。武蔵野美術大学日本画科卒業。植物による立体、映像、インスタレーション等の作品を制作。彼ら(植物)から感じたものをできるだけ損なわぬよう気をつけながら、彼らの魅力的な姿をアートとして再構成し、私達の周りに実は存在しているたくさんの生命の声を聴く、或は彼らを感じるための場を作っている。

奈良田晃治 Koji Narada | 作品名「火の記憶」

1982年大阪生まれ。2006年大阪芸術大学を卒業。2009年より現在まで関西を中心に絵画作品の発表を続けている。旅先の風景や古い写真に写る人々をモチーフにして、画面上における地と図の関係や、グレージング技法によって生まれる偶然性を利用した作品を制作してきた。2019年より日韓藝術通信実行委員会代表。

葎村太一 Taichi Yoshimura | 作品名「Daddy's Revival」

1986年兵庫県生まれ。日常に溶け込んでしまった“痕跡”に焦点を当て、その奥に存在するであろう目には見えない不確かな部分から作品を制作している。忘却し消えゆくものの時間を保存し、時間感覚の本質を問いかける。

ユージン・ソレル Eugene Soler | 作品名「Immaterial」

1977年生まれ。オーストラリアの建築家、インスタレーション・アーティスト。オーストラリア、イギリス、フィリピン、現在は奈良を拠点に活動。セントラル硝子国際建築設計競技で2度受賞(第44回、第55回)。2019年京都文化プロジェクト野外インスタレーション公募展で大賞を受賞(審査員:安藤忠雄氏他)。

彼の作品はサイトスペシフィックであり、人の身体が時間/空間、文化、意味、忘れられた記憶をどのように体験するかを調査している。自然や周囲の環境との関係を再発見するため、素材のパフォーマンス性について実験し、その空間的な可能性を探る。



1



2



3

1. 赤松加奈
「いのちのかたまり」2022
730 × 610 × 30mm| アクリル, キャンバス, パネル

2. 岩谷雪子
「薬草たちの囁き ヤマトトウキ・婦人薬」2022

3. 奈良田晃治
「伸びた茶畑のドローイング」2020
撮影: Tomas Svab

4. 葎村太一 「Imitation or mimic」2021
撮影: 大槻智央

5. ユージン・ソレル
撮影: Takeru Koroda
(c)Kyoto Power of Culture Project, Kyoto Art Center



4



5

* 作品の画像は、出展作品と異なる場合がございます。

はならあと

②はならあとサステナブル講座

「環境」「食」「自然」などをテーマに持続可能な社会に向けてさまざまなレクチャーをはならあと期間中毎日開催します。

参加費：入場チケット1枚につき1講座無料で受講することができます。

講座のみ受講の場合は500円／1講座

予約制 ※定員に空きがある場合は当日受付可能

会場：旧天恵堂電気屋



< 講座内容 >



③はならあとシネマ

「環境」「農」「気候変動」などをテーマにした映画上映会を開催します。

参加費：入場チケット1枚につき500円（映画のみ鑑賞の場合1作品1,000円）

中学生以下無料

予約制 ※定員に空きがある場合は当日受付可能

会場：モリ②ゲストハウス1F



< 上映作品内容 >



④はならあと SUNDAY マルシェ

環境に配慮したこだわりのお店が集まります。

主に奈良県下で環境に配慮した生産者を紹介し、『はならあと』の来場者や天理市の地元住民のみなさんと交流できる場としてエコマルシェを開催します。

「ゴミを出さない」を目標に、出店者にはプラスチックフリー、無包装をお願いし、来場者にはマイバッグ、持ち帰り用の容器を推奨します。

期間中、毎週日曜日開催。

会場：天理本通り商店街の2箇所



昨年度の様子 撮影：長谷川朋也

⑤はならあと団体パートナー展

奈良県内で環境問題に取り組む企業や団体のパネル展示を開催します。

会場：旧いわい洋品店1階

入場：無料

出展団体：NPO 法人奈良ストップ温暖化の会（NASO）/ 岡村印刷工業株式会社 / 市民生活協同組合ならコープ / 生活協同組合コープ自然派奈良 / 有限会社ポニーの里ファーム



昨年度の様子 撮影：長谷川朋也

春日山原始林アートプロジェクト

会場：旧出口おもちゃ店

入場：無料

出展団体：春日山原始林を未来へつなぐ会

⑥はならあと ART SHOP

おうちにアートを飾ってみませんか？

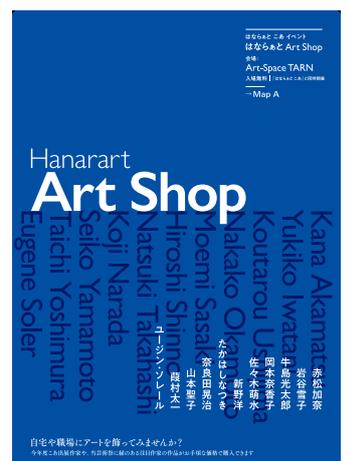
2022年度こあ出展作家や『はならあと』にゆかりのある注目作家の作品が購入できます。

会場：Art-Space TARN

入場：無料

出品作家：赤松加奈 / 岩谷雪子 / 牛島光太郎 / 岡本奈香子 / 佐々木萌水 /

新野洋 / たかはしなつき / 奈良田晃治 / 山本聖子 / 葎村太一 / ユージン・ソレル



自宅や職場にアートを飾ってみませんか？
今年度こあ出展作家や、有志者による注目作家の作品が購入できます。

[奈良・町家の芸術祭 はならあととは]

2011年から始まった「奈良・町家の芸術祭はならあと」は、歴史的な町並み・町家に現代芸術作品を展示する地域型アートプロジェクトです。地域団体が主体となり運営する全国的にも珍しい取り組みで、地域内外の交流促進、地域住民のまちに対する誇り・愛着の醸成、文化活動の支援等を目標とし、これまでに13市町村、21地域で開催しました。

その結果、2021年までの11年間で「はならあと」をきっかけに42件もの空き町家が利活用された他、新しいまちづくり団体の立ち上げや、高齢化が進むまちづくり団体への若手加入等の効果が生まれています。

◆主催団体

奈良・町家の芸術祭HANARART実行委員会

(県内16地域のまちづくり団体の代表者およびアーティスト、奈良県、開催地域の市町村により構成)

◆過去開催エリア

2011-2021年で13市町村、21地域で開催

奈良市（ならまち・きたまち・柳生）、大和郡山市、天理市、橿原市（今井・八木）、桜井市（三輪・桜井本町・初瀬・戒重）、五條市、御所市（御所まち・名柄）、生駒市、宇陀市、田原本町、曽爾村、高取町、吉野町（国栖・大和上市）

◆来場者数・参加作家数

11年間のべ来場者数約39万8600人 / のべ参加作家数 897組

◆空き町家利活用実績

2011年～2021年までにはならあと会場となった空き町家が42件利活用。

空き町家利活用件数 42 件 !!

2022年5月現在

